



題字：鳩山威一郎

機関紙「友愛」

発行所

公益財団法人 友愛

〒112-0002
東京都文京区小石川
1-10-13 小石川文ビル2階

TEL:03-5684-3188

FAX:03-5684-3186

E-Mail:you-i@yuai-love.com

http://yuai-love.com

編集人：羽中田元美

隔月1回 10日発行

会費(4月～3月)

個人／3,000円以上

法人／10,000円以上

第30回通常理事会開催 運営委員・選考委員を承認

OEJAB派遣・ミャンマー農場支援・小論文コンテストなど各事業も順調に推進

10月13日(金) 18時より、友愛サロンにおいて第30回通常理事会が開催された。2023年度からの運営委員・選考委員の選任も行われ、これまで選考委員を務めていただいた外部選考委員に加え新たに三名の女性選考委員が選任された。その他、事務局を置いている現在のビルの4階が空室になったのを機に、資料室として、また友愛ユニオンの活動拠点となる部屋として使用すべく当財団が借り受ける事が協議され承認された。

理事長挨拶

皆さまのご協力を得て、友愛創立70周年記念式典は、成功裡に終了いたしました。ご協力に、改めて感謝申し上げます。ここで達成ではなく、ここが出发点という思いで、これからの友愛を発展・充実させるべく皆様をお願い申し上げます。

事業報告

1、ミャンマー農業指導者育成事業／井田理事

堆肥つくりに関する見学実施・9月21日(木) 千葉

県いすみ市高秀牧場 東京農工大学／藤井名誉

教授と今後の方針を検討10月19日(木)

2、OEJAB派遣・受入事業について／西川理事

海方 亨監事



【派遣事業関連】

2023年度派遣員募集締め切り／女子45名・男子14名 計59名応募・11月中旬の結果発表に向け準備中

【受入事業関連】

OEJABより実施について確認・問い合わせあり2024年度に12名(OEJAB希望)を受け入れる方向で調整

3、70周年記念誌など／芳賀理事

タイトル・友愛創立70周年記念DVD 動画『未来につなぐ』

制作数・2、000部 贈呈先・各都道府県立図書館 国会図書館、東京都23

区立図書館・全国主要大学図書館・関係各位(元理事・評議員・関連団体等)

*二面に紹介記事掲載

各担当理事からの報告を終え、それぞれの質疑が交

わされたのち、協議に移った

協議事項

4、友愛勉強会講師 広島被爆者団体代表 田中聡司(79歳)様を友愛ユニオン及び2023年度派遣員の勉強会(12月23日)

講師としてお招きする。5、当ビル4階の借り受け資料室として閲覧開放する一方、友愛ユニオンメンバーの活用を供し、友愛発展のための情報発信の場と位置付けた活用を目指す

6、鳩山友愛塾HPの統合友愛のHPにバナーを作成し、リンクさせる方法で統合する。アーカイブのみならず、現状の報告頁として活用できるよう、復旧してほしい旨の要望があった。以上協議を終え、それぞれの協議議題は、前述の通り全て承認された。

午後8時30分、理事会は予定を終え終了した。出席者 鳩山由紀夫理事長・井上和子理事・芳賀大輔理事・井田安信理事・西川伸起理事・攪上哲夫理事・南桢幸理事・山崎偉広理事・山口千恵子理事・海方 亨監事

井田安信理事



南桢幸理事



後藤大智理事



芳賀大輔理事



上哲夫理事



山口千恵子理事



井上和子理事



西川伸起理事



山崎偉広理事



友愛時評

▼ワルシャワ大学での式典とセミナーに参加するため、4年ぶりの海外出張に行くことになった。ヨーロッパまでの航路は、ロシア上空を通過できないために、かなり所要時間が長くなっている。15時間以上ずっと機内に閉じ込められるのはつらいと思っていたところ、かつての同僚よりドバイ総領事着任の挨拶メールを受け取った。中東経由であれば10時間程度の便の乗り継ぎで済む。評判の高いエミレーツ航空を利用し、ストップオーバーして総領事を表敬訪問することとした。▼世界一の高さを誇るブルジュ・ハリファをはじめ、ドバイはギネス世界記録だらけである。空港からホテルに向かうタクシーから最初に見えた「額縁の形をした世界最大の建造物」であるドバイ・フレームには口があぐりとなった。建築家にとっては、常識ではあり得ないような構想を実現し得る魅力的な場所に違いない。実際、開発中の土地も多く、街全体に「世界最高」を目指す活気を感じた。▼アプリで手配するタクシーは実に便利で会話しなくとも目的地に着くことはできたが、運転手と話すとは皆国籍が違った。ドバイは90%以上を外国人労働者に頼っているが、単純労働だけでなく、スタートアップ企業の誘致にも熱心だという。自らの力を試したいという若者が世界中から集まるのも大いに納得できた。▼翌日のワルシャワ行きの便は、ガザ地区とウクライナの間を縫っていくような航路である。最も近いところでは両方の戦線に500キロほど迫るのか。バカンスを過ごすロシア人の家族連れがプールではしゃぐ光景を思い出しながら、複雑な思いで航路の画面を眺めていた。(ヒゲ)

鳩山由紀夫理事長

中国・一带一路フォーラムで講演

友愛の大切さを強調

北京で開催の一带一路10周年記念に参加のため北京を訪れていた鳩山由紀夫理事長は、習近平国家主席をはじめ、ロシアのプーチン大統領他、各国要人が参加する「第三回一带一路フォーラム」(人民大講堂で開催)に出席、各国要人らと挨拶を交わした。招待を受け日本から参加したのは、鳩山由紀夫理事長のみである。

これは鳩山由紀夫理事長が一貫して唱えている「友愛精神」が高く評価されたことの裏付けである。並行して開催された「一带一路国際シンク協力委員会全体会議」などで鳩山由紀夫理事長は、中国を取り巻く世界環境などについてスピーチを展開。友愛の理念は勇気をもって実践していくことが大切であると述べ、大きな反響を呼んだ。



70周年記念動画『未来につなぐ』完成

友愛70年の歴史と共にDVDに収録
創立70周年記念楽曲『希望の道』も収録

公益財団法人友愛創立70周年を記念して一つの物語が完成した。
『未来につなぐ』と題されたこの動画は、友愛理念の歴史をひもとき、友愛活動の今昔を伝え、正に未来につながる可能性と課題をテーマに制作されている。

併せて渡邊康雄氏による書き下ろし楽曲『希望の道』が、渡邊氏自身が演奏している姿と共に納められている。更に、機関紙『友愛』のバックナンバーが創刊号から印刷も可能なPDFデータで納められており、友愛の歴史全てが網羅されて、活用していただきたい。



DVD 2枚組 ケース入り
ご希望の方は事務局まで
会員：送料1,000円
一般：送料3,000円
*詳しくはお問い合わせください



公益財団法人友 愛

友愛創立 70 周年記念 DVD PC 専用

1 友愛データベース

年表・活動記録・機関紙『友愛』・関連資料



2 映像で綴る友愛 70 年の軌跡『未来につなぐ』

3 創立 70 周年記念楽曲『希望の道』作曲・演奏 渡邊康雄

発行：公益財団法人友愛

編集・制作：1 友愛編集部・(株)出版文化社

2 上垣喜寛・鈴木貴太郎

3 演奏/渡邊康雄 (作曲家)

監修：1 川手正一郎 2 戸澤英典

発行年月日：2023 年 4 月 29 日

特別付録

DVD プレイヤー用 Disc

2 映像で綴る友愛 70 年の軌跡『未来につなぐ』

3 創立 70 周年記念楽曲『希望の道』作曲・演奏 渡邊康雄

李克強前首相ご逝去

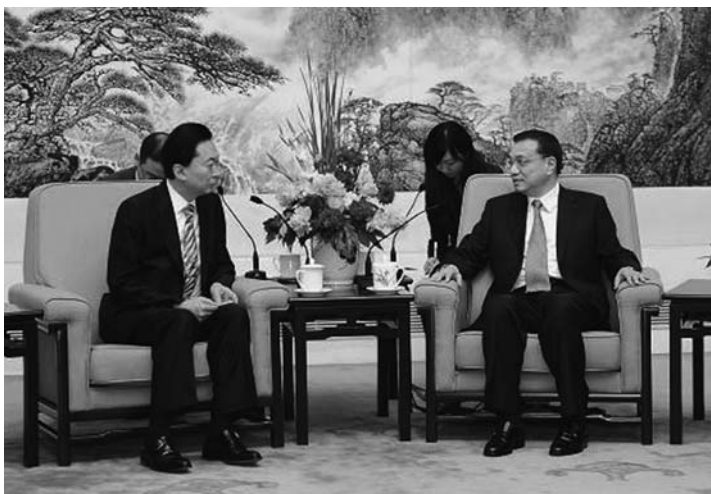
9月27日中国国営メディアが、李克強前首相が未明に心臓病の発作で亡くなったことを一斉に報じた。上海で休養中の出来事だった。

産主義青年団(共青団)出身の李克強先生とは交流の歴史も長い。友愛訪中団が中国を訪れた際には、積極的に面談の機会を作ってくださり、交流を深めてきた。

李克強前首相は2013年に首相就任。経済政策を担当しながら、中国政府の顔として首脳外交も積極的になされた。

常に優しい笑顔を絶やさなかった李克強先生の早すぎるご逝去は、何とも残念である。

友愛として心からの哀悼の意を捧げたい。



鳩山由紀夫理事長と李克強前首相との会談
和やかな雰囲気の中、話題は日中文化交流にも触れ、今後の活発な交流を約した

写真下…1990年友愛訪中団と記念撮影(左から2人目李克強前首相)
鳩山邦夫前理事長(右から4人目)深津榮一先生(右端)の顔もある。友愛と李克強先生との深い交流の歴史を語る一枚。李克強先生の右(写真左端)は、岩屋毅衆議院議員



川手正一郎前常務理事が中国より国家友誼賞を授けられた折りの授賞式
優しい微笑みと、祝福の言葉で力強い握手を





軽井沢友愛山荘はその70年の歴史の幕を閉じた。友愛発足以来共に過ごしてきた最後の友愛山荘である(かつては裏磐梯など全国に存在した)。当財団は公益財団法人友愛となった折りに、運営からは離れていたが、鳩山由紀夫理事長が会社組織として運営を続けていくくださった。この度、建物の老朽化もあり、全ての運営を終了した。永年多くの方に、憩いの場として、研修施設として親しんでいたいただきた友愛山荘。最後の宿泊客は、当財団の理事及び友愛ユニオンのメンバーでの合宿。次代を担う若者たちに友愛の原点とも言える地に集ってもらえた事は何よりである。谷藤悦史理事、井田安信理事、西川伸起理事と一緒に今後の友愛を担う自分たちの役割を話し合ったり、ボーリング対抗戦を楽しんだり、有意義な「友愛山荘合宿」となった。参加の友愛ユニオンメンバーから、それぞれの想いが寄せられてきた。友愛山荘への大いなる感謝と惜別の想いを込めて、友愛山荘への餞としてここに紹介したい。

軽井沢で紅葉に囲まれて

手塚七彩
軽井沢の山荘で過ごした2日間は、友愛の輪を広げるために何をすべきか、組織として目指す方向が



カラーでお見せできないのが残念である。見事に色づいたモミジを背に鳩山一郎先生の書で造られた「看板」(川手正一郎前常務理事寄贈)と一緒に記念撮影。
写真前列左から橋本太郎、羽中田元美、手塚七彩、藤田脩椰、鈴木健太、小倉佑太、女鹿笑奈、龍舞香、後列左から井田安信、谷藤悦史、西川伸起、北島貴央(敬称略)

考える時間となりました。その中で、私が一番大切だと考えたのは、人々に友愛とは何かを考える機会・時間・場所を提供することです。

あるとはいえ、友愛という概念についての考え方は、何通りあっても良いと思います。単に組織としての答えを提供するのではなく、たくさん考え、議論を重ね、各個人が自分なりの答えを見つけて出すことが、友愛の輪を広げることにつながるのではないのでしょうか。

実際に、今回友愛山荘を訪れ、美しい景色とおいしいご飯を楽しみながら、経歴や業種の異なる同世代と議論したことで、日常で凝り固まった思考を柔軟にし、自分の思考・視野を広げられたように感じます。友愛に関わる人数が増えれば、その分友愛についての新しい考え方やアクションが増え、より厚みのある組織へと成長していくと思います。

そのためにはまず、人々が友愛について考え、議論することの出来る環境を作ることが大切です。集まる理由は映画鑑賞でも旅行でもなんでもよいと思います。最後に、今回様々な手配をしてくださった事務局の皆様、一緒に行動してくださった理事の皆様、素敵な

時間をありがとうございました。

友愛合宿を終えて

女鹿笑奈

この度は一つの節目の時期に、友愛の原点とも言える友愛山荘を訪れる貴重な機会を頂きありがとうございました。

紅葉が街を彩る素敵な季節にこの場所で時を過ごせたことは、また一つ自分の人生を豊かにしてくれた経験となったと感じています。

今回の友愛合宿では、私が参加した2022年度オーストリア派遣団での同志のみならず、友愛の精神をもった人々が全国各地から駆けつけました。紅に染まった路をサイクリングしたり、朝の澄んだ空気の中でニスを楽しんだりする中で新たな絆を築き、また深めることができました。

普段は全く異なる日々を過ごす参加者との食事の際には、友愛についてはもちろん、国内外の様々な問題から日常生活についてまで、各々の視点から多種多様な意見や考えが交わされました。自分の視野を広げるとともに、新たな課題を見つけ、人生を見つめ直す良いきっかけになりました。

友愛山荘での滞在は、友愛の歴史に思いを馳せ、また友愛を実践することの重要性を再確認する良い機会となりました。この山荘とはお別れですが、今後もここで生まれた絆や思いを大切にしていきたいと思っています。

發送力・発信力を活かそう

北島貴央

紅葉がピークを迎える11月上旬、広々とした友愛山荘で3日間を過ごせたことは貴重な思い出になりました。

まず、ユニオンメンバーと共に過ごした時間は何にも代えがたいものです。個々人が多様なバックグラウンドや立場にあります

が、お互いの近況や悩みについてじっくり語り合い、つながりをさらに深めることができました。これから先進路が別れ、会うことが難しくなる仲間が増えていくでしょう。だからこそ、まずは出会えたことに感謝しつつ、一人ひとりの関係を大切にしたいと思えた3日間でした。

また、友愛の未来のためにできることを考える機会がありました。これも大変有意義な時間でした。

「若い世代だからこそできることはなにか?」認知度を上げるにはどうすればいいか?」合宿の効果か、いつも以上に活発で具体的な意見交換がされた印象です。

若者は「発信力」や「発信力」が強みとしてよく挙げられますが、それらを活かした取り組みをしてみたいなと思いました。活動を具体化するにあたり、理事の方々にも後押しいただけるのが何より心強いです。

最後になりますが、今回の合宿をアレンジしてくださった事務局の方々と、友愛山荘でお世話してくだ

さったスタッフの方々には大変感謝しています。本当にありがとうございました。そしてつたない私たちの議論に、本気で教えてくださり、答えてくださった理事の方々に感謝申し上げます。

惜秋の友愛山荘

藤田脩椰

11月3日から5日にかけて、軽井沢は友愛山荘に宿泊する機会をいただきました。10月末で一般向けの営業を停止した後、別れを惜しむという意味も込めて、役員の方々と友愛ユニオンのメンバーとである種合宿のような形で会が持たれました。

木々も色づき水も澄む、秋の行楽シーズン真っただ中であつたものの、喧騒から離れゆっくりとした時を過ごすことができました。

会の中では、発足から数年が経ち徐々に規模を拡大している友愛ユニオンが今後どのような活動を行っていくか、果ては個人が友愛についてどのように考えるかに関して意見を交わすことができました。具体的な部分についてはまだまだこれからという段階ではありますが、より大勢が集まるであろう次回のユニオンの会(十二月二十三日)でさらに議論を深めることができ

ればと思っています。公職追放を受けた鳩山一郎先生が、晴耕雨読の日々の中友愛の構想を練られた、友愛の原点とも言える



写真上：今後の友愛活動の中で、「友愛ユニオンの役割は何か」「ユニオンとして何が出来るか」熱心に話し合いが行われた。谷藤悦史理事の説く「友愛」に全員が感動
写真下：調度友愛山荘を訪問された鳩山紀一郎さんを囲んで、鳩山一郎先生の書「明鏡止水」と一緒に記念撮影

地、軽井沢。この土地において、今年70周年を迎えた友愛の今後について年代を超えて思いを馳せることができた非常に有意義な時間だったと思います。

末筆ながら、このような素晴らしい機会を与えてくださった友愛役員の皆様、事務局の方々に厚く御礼を申し上げます。ありがとうございました。ありがとうございました。

ありがとう、私たちの友愛山荘

小倉佑太

この度、友愛山荘での合宿に参加させていただきました。2020年度エヤップ派遣員の小倉佑太です。連休で軽井沢はものすごく混み合っておりましたが、駅から歩いて5分ほどにある

山荘にはとても静かな時間が流れていました。

友愛山荘に到着した瞬間、私たちは美しい景色に圧倒されました。赤、橙、黄色と様々な色づく大きな紅葉の木が私たちを包み込みました。空気は清々しく心地よい風が吹き、広々とした芝生を前に、喧噪を忘れリラックスとはこういうことだと思いました。

食事も友愛山荘の魅力の一つです。地元食材を使用した料理は新鮮で美味しく、心も体も満たされるものでした。特に、地元で採れた野菜や山の幸を使った料理は絶品であり、地元の味を堪能することができました。

友愛山荘のスタッフの方々も非常に親切で、私たちの滞在をサポートしてくれました。質問や要望に対して丁寧に対応してくれる

友愛山荘を利用する機会が最後となるため、この機会に気持ちを込めて、山荘の魅力を伝えていきたいと思います。

友愛山荘を利用する機会が最後となるため、この機会に気持ちを込めて、山荘の魅力を伝えていきたいと思います。

だけでなく、笑顔で接してくれたことも印象的でした。3日間を通して私たちは快適な時間を過ごすことができました。

2日目に行った「友愛ボーリング大会」では理事とユニオンメンバーでチームを組み、力を合わせて優勝を目指しました。ゲームは盛大に盛り上がり、より親睦を深められた瞬間であつたと思います。

またこの3日間を通して「友愛理念」や今後の友愛ユニオンとしてあるべき姿についてユニオンメンバーと互いに熱く語りあつた時間は非常に有意義なもので、これからの目標や方針を全員で共有することができたと感じています。

友愛山荘を利用する機会が最後となるため、この機会に気持ちを込めて、山荘の魅力を伝えていきたいと思います。

友愛山荘を利用する機会が最後となるため、この機会に気持ちを込めて、山荘の魅力を伝えていきたいと思います。

こうした合宿を今後も続けることで新たな発見や友愛思想の探求、そしてメンバー同士や理事の先生方ともより打ち解けられる貴重な時間になると感じました。今後もこうした合宿を続けていければ良いなと感じた3日間でした。

充実の友愛山荘合宿

龍 舞香

今回、友愛ユニオン合宿@友愛山荘に参加させていただきました。

友愛ユニオンの参加メンバーは年度は違えども、偶然にもほとんどが2023年3月の派遣で、一緒にオーストリアに行ったメンバーで思い出話も尽きることなく、終始楽しく過ごすごとが出来ました。

仲間同士のみなならず、理事の方々と交えて世代を超えて語り合える空間はとても貴重だと改めて感じました。

宿泊施設もとても素敵で、運営終了してしまうのはとても寂しいです。趣のある正面玄関に、どこか懐かしい感じのする食堂、お部屋ひとつひとつにはこだわりのアート作品が飾られており、とても心地よい空間でした。

綺麗な紅葉を眺望できるお庭、音響設備の整ったホール、テニスコートまであり、勤務の都合で1泊のみでしたが、充実した2日間を過ごすことが出来ました。最初で最後の友愛山荘、最高の思い出になりました。

合宿の企画から宿の手配まで準備していただいた友愛事務局の方々には大変感謝申し上げます。

今後とも友愛ユニオンメンバーで新しい友愛のあり方を創り上げて行きたいと思っております。よろしくお願いいたします。

友愛理念と軽井沢の景色

鈴木健太

今回、軽井沢にある友愛山荘での「友愛合宿」に参加してきました。友愛山荘が10月31日をもって終了されることを聞き、私は「どうしても最後に行きたい」とわがままを承知の上お願いしていました。そして今回その実現に向けて対応していただいたことに、この場を借りてお礼申し上げます。

合宿中は皆で多くのことを体験してきました。旧軽井沢市街地や雲場池にて紅葉散策。西川理事、井田理事を交えてボーリング大会。また、散策だけでなく友愛ユニオンの今後について仲間と共に話し合っていました。

毎年若いユニオンメンバーが増えています。そして、今後友愛を支え発展していくためには、若いエネルギーが不可欠です。そのためにも、友愛のために一人一人が取り組んでいくことを具体的に何か？ 意見交換してき

もつと友愛が広く・深く伝わるように今後に活かしたいと考えています。

1954年に開設され長い歴史を持つ友愛山荘。現在は公式HPも閉鎖されており寂しさを感じます。しかし、短い間ではありますが、鳩山一郎先生が過ごされた、友愛理念の構想を得た地に最後に足を運ぶことができ、同じ景色を見られたと思うと感無量です。

または非個人的にでも軽井沢を訪れたいと思います。

ていきたいと考えています。

1954年に開設され長い歴史を持つ友愛山荘。現在は公式HPも閉鎖されており寂しさを感じます。しかし、短い間ではありますが、鳩山一郎先生が過ごされた、友愛理念の構想を得た地に最後に足を運ぶことができ、同じ景色を見られたと思うと感無量です。

様々な話題、十人十色の考え

橋颯太郎

この度は、紅葉色づく友愛山荘にて集う機会を頂きました。誠にありがとうございました。

友愛ユニオンの仲間や理事の方々と談笑やアクティビティを通して親交を深めることができてとても有意義な時間となりました。

普段友人や家族とは話さないような、考えさせられる内容が何度も合宿中の話のテーマに挙がりました。

正直な感想として、友愛での会話は幅が広くかつ深いものであり、自分の勉強不足を痛感する瞬間が多々あります。私は新聞を読むことを習慣にしています。

が、知った事実に加えて自分なりの考えを持つことで初めて深みのある会話が出来るようになると思います。普段の人間関係内では受けられない刺激を友愛では味わうことができると思っています。これを読んだ人は

堅苦しい印象を持たれるかもしれませんが、そんなことはありません。和気藹々と楽しく、時には真面目に話ができる雰囲気は常に友愛にはあります。

今後の友愛活動についての会議では、友愛の概念は十人十色のファジーなものであるためその活動も自由であっていいと説明を受けました。この自由さは何でも挑戦ができる素晴らしいことだと思います。私達は今回パンフレット作りを行い友愛ユニオンの雰囲気を感じて知ってもらう取組みをすることに決定しました。

これが最初で最後の山荘であることがとても残念ですが、合宿のような形で定期的にユニオンで集まる機会を作ろうという話になりました。次回は年末、皆様に会えることを心より楽しみにしております。

お詫びと訂正

機関紙『友愛』第584号（9月号）に誤りがありました。

一面記事で70周年記念楽曲の作曲者 渡邊康雄様のご尊父様の所属楽団について「日本フィルハーモニー管弦楽団」と表記してありますが、これは「日本フィルハーモニー交響楽団」の誤りです。渡邊様はじめ、関係各位、読者の皆様にご迷惑をお掛け致しました。お詫び申し上げますと共に、謹んで訂正させていただきます。

編集部

公益社団法人 友愛ホームページQRコード

写真満載の友愛の活動記録をはじめ、機関紙『友愛』のバックナンバー・定款等の情報など、多くの情報を掲載しております。スマートフォン版は左のQRコードからご覧いただけます。



◆過日中国で食べたトウモロコシが美味しい、美味しくないとい、訪中時一緒に食べた井田理事と議論になりました。大粒で澱粉質の多い、もっちりした食感のトウモロコシです。すかさず同席していらした東京農工大の藤井名誉教授と、南整理事（東京農工大卒）が「甲州トウモロコシね」とおっしゃいました。聞けば古い原種で、地域性の高いトウモロコシだそうです。私が美味しいと思った背景には、幼い頃の故郷（大月市）で食べた、原体験があったようです。お二人の専門知識に感服すると共に、私を構成している要素に、原体験が影響していることを再認識。でも故郷は遠くにおいて：ですかね。（も）